

大好き！絵本

初瀬 恵美



ご進級おめでとうございます

春の花が次から次へと咲き、木々は新緑が美しい季節となりましたね。新型コロナウイルスについてはマスク着用や外出は個人の判断に任されるようになり、もうすぐ2類から5類へ移行されます。現在、感染者数は減少していることもあり、今年は、4年ぶりに親子遠足を行うこととなりました。ただしバスを貸し切ってではなく現地集合、現地解散ですが……。楽しい一日になるといいですね！

前置きが長くなりましたが「遠足」といえば「お弁当！」ということで、今月の絵本は『おべんとう』を紹介したいと思います。

ちょうど一年前の4月には『サンドイッチ サンドイッチ』を紹介しましたが、今回も同じ作者の絵本です。小西さんは他にも『のりまき』『カレーライス』なども出版されており、この4冊がまとまった『小西英子の おいしいものいっぱい絵本 4巻セット』も販売されています。どれもいっしょに鮮やかで、おいしそうです。

さて、ではこの『おべんとう』の絵本はどんな絵本でしょう。表紙を開くとお弁当箱の絵から始まります。続いてページをめくると空(から)のお弁当箱があり「さあて なにから いれようか」と、ミートボールや卵焼き、ウインナーなど定番のおかずが次から次へと入っていき、お弁当が完成していきます。どんどんいろいろ豊かになり、春らしい色のかわいらしいお弁当の完成！この絵本をみると、つついとお弁当を作って、ピクニックに行きたくなるそんな絵本です。

新型コロナウイルスが流行る前は、園に空(から)のお弁当箱を持ってきて、子どもが自分たちで好きなおかずを詰めるセルフバイキングを行っていました。

おにぎりは自分たちで作る、昼食のおかずを詰めたお弁当は、園庭の好きな場所で食べることができる。そのような日を年に数回もうけていました。きっかけは場面緘黙の様な症状のため、園の昼食を一切食べることができなかつたお子さんがお家から持ってきたお弁当は食べたということでした。「園の昼食もお弁当箱に入れてみては？」という発想をきっかけに、セルフバイキングを行うとなんと、その子は、保育園の昼食を食べることができるようになったのです。いつもと違う場所で、いつもと違う雰囲気食べるお弁当は、心も柔らかくしてくれるのかもしれないね。ぜひ、おいしそうなおかずが詰まった『おべんとう』の絵本をご覧ください。



『小西英子の おいしいものいっぱい絵本4巻セット』
作:小西英子 出版社:福音館書

4月



誕生日おめでとう

